

対馬に生きた画家たち

市制施行20周年記念特別展
対馬の美術 I

쓰시마에
살던
화가들

津江篤郎《島の漁港》1995年頃、油彩、対馬博物館蔵



青木秀文《作品》1966年、油彩、対馬博物館蔵



藤崎利明《いくさをいさめいた村》2016年頃、油彩、対馬博物館蔵

PAINTERS
WHO LIVED IN
TSUSHIMA

- 「対馬に生きた画家」
津江 篤郎
Tsunoe Tokuro
- 青木 秀文
Aoki Hidefumi
- 藤崎 利明
Fujisaki Toshiaki
- 「関連画家」
関野 益友
Sekino Ekiyu
- 林 武
Hayashi Takeshi
- 山口 長男
Yamaguchi Takeo

対馬に生まれた画家たち

市制施行20周年記念特別展 対馬の美術 I

- 1 青木秀文《フォルム2015-1》
2015年、油彩、対馬博物館蔵
- 2 津江篤郎《島の春》
1992年頃、油彩、対馬博物館蔵
- 3 藤崎利明《歴史に記録されなかったあのころの対馬：太平洋戦争を前後して》
表紙、原画、2011年、個人蔵
- 4 関野益友《武内宿禰図》(部分)
内野・津江家関係資料
(長崎県対馬歴史研究センター寄託)
- 5 林武《花》
1935年以前、油彩、福岡県立八幡高等学校蔵
(福岡県立美術館寄託)
- 6 山口長男《居》
1963年、油彩、福岡県立美術館蔵

皆さんは対馬に生きた画家たちをご存じですか？近代以降、国境の島、ここ対馬で活動した画家は決して多くはありません。しかし、都市部の中央画壇から遠く離れたこの場所に力強く根を張って活動した画家たちがいます。彼らは教育者として美術を教えながら、自らの表現活動のために筆を握り続けました。彼らが創作に注いだ情熱は多くの同志を集め、地域の子どもから大人たちにまで絵との触れ合いを生み出しました。本展では、彼らの作品を通して、彼らが探求した美の世界の魅力と対馬の戦後美術がどのように展開されたのかをご紹介します。

[観覧料]

一般・大学生 500円
小・中・高校生 無料
未就学児 無料

※市民は上記観覧料から110円減額
※15人以上の団体は100円減額

[開館時間]

09:30-17:00 (入館16:30まで)

[休館日]

木曜日(祝祭日の場合はその翌平日)
※臨時休館の場合あり

[会場]

対馬博物館 特別展示室

TSUSHIMA PAINTERS WHO LIVED IN TSUSHIMA



関連イベント | 관련 이벤트 | Events

美術講座

戦後の対馬美術史

講師 小栗栖 まり子
対馬博物館学芸員
定員 20名

6/16 日 13:30-14:30

体験学習室 無料 要申込

絵画を鑑賞してオリジナルのトートバッグをつくろう

定員 10名

各回 13:30-15:30

小学生対象 > 5/25 土 中高生対象 > 6/8 土 大人対象 > 6/14 金

体験学習室 有料 要申込



詳細・イベント申込は博物館ウェブサイトをご覧ください

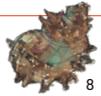
展示解説会

전시해설회

各回 13:30-15:30

第1・3土曜 | 日本語 13:30- / 한국어 14:30-

第2・4日曜 | 日本語 13:30- / 한국어 14:30-



特別展示室 申込不要 要観覧券



絵画を鑑賞して陶器のブローチ・マグネットをつくろう

定員 10名

各回 13:30-15:30

大人対象 > 6/2 日 小学生~高校生対象 > 6/22 土

体験学習室 有料 要申込



同時開催 | 동시 개최 | Held at the same time

「対馬の身近な自然」テーマ展示

対馬に生きる植物たち

4/27 土 - 6/30 日

植物標本と青木秀文が描いたスケッチなどを展示し、画家が捉えた植物の個性や魅力を通して、画家の心を掴んだ対馬の植物をご紹介します。

講座室 無料



青木秀文(オウゴンオウゴン)水彩 対馬博物館蔵



- 7 藤崎利明作品(部分)、版画、個人蔵
- 8 青木秀文作品(部分)、水彩、対馬博物館蔵
- 9 津江篤郎作品(部分)、油彩、個人蔵



主催 対馬博物館
住所 長崎県対馬市厳原町今屋敷668-2
TEL 0920-53-5100
FAX 0920-53-5111
https://tsushimamuseum.jp